

必要な場合は、ルールを見直して 解決を図ります

有効期限切れの保険証の破棄

相談

国民健康保険被保険者証の毎年度の更新のたびに、窓口で有効期限切れの被保険者証を返却するよう求められる。被保険者証は、受診する病院で確認されるため、悪用されることは考えられない。返却せず、自分で破棄してもよいのではないか。



改善前

改善

行政苦情救済推進会議に付議した結果を踏まえ、行政評価局は、厚生労働省に対し、①有効期限切れとなった国民健康保険被保険者証などを被保険者自身で破棄することが可能となるよう、関係法令の規定を見直すこと、②①の措置について、被保険者、都道府県及び市区町村に周知するようあっせんしました。

厚生労働省は、このあっせんを受け、①のとおり省令を改正し、その趣旨を含め、都道府県、市区町村等に周知する措置を行いました。

これにより、被保険者自身が有効期限切れの被保険者証を破棄することが可能となりました。



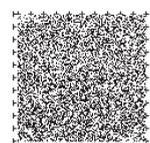
改善後

行政苦情救済推進会議とは

総務大臣が委嘱した民間の有識者により、全国的な制度・運営の改善が必要な相談や行政相談委員から寄せられた行政に対する意見についての確かつ効果的な処理を推進するため、審議を行っています。

総務省本省の行政苦情救済推進会議のメンバー（敬称略）

- ◎ 江利川 毅（公益財団法人医療科学研究所理事長）
- 小野 勝久（公益社団法人全国行政相談委員連合協議会会長）
- 梶田 信一郎（元内閣法制局長官）
- 齋藤 誠（東京大学大学院法学政治学研究科教授）
- 榊原 一夫（弁護士、元大阪高等検察庁検事長）
- 高橋 滋（法政大学法学部教授）
- 南 砂（読売新聞東京本社常務取締役調査研究本部長）
- ◎…座長（令和4年3月現在）



このマークは
音声コードです。

解決が困難な問題でも、行政苦情救済推進会議において審議し、解決を促進！